

第 65 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会
中国地区予選会

日時：2019 年 7 月 13 日

場所：鳥取県米子市淀江球場（A 球場）

▼1 回戦 10:00～

鳥取打吹 SC 0 0 0 0 0 0

環太平洋大学 0 0 0 7 × 7 (規定により 5 回コールド)

鳥：堀(3 回 1/3)谷田(2/3) — 山本

環：井上(4 回)上田(1 回) — 長谷川

本塁打：大城(環)

二塁打：谷口み、井上ゆ(以上環)

戦評

3 回まで四死球 3 個に抑えられていたが、4 回表に打線が爆発！この回先頭の 4 番小原がライト前ヒットで出塁、1 死後、6 番谷口(美)が左中間を破るツーベースヒットで 1 死 2、3 塁のチャンス。7 番大城が初球をレフトスタンドへ先制スリーランホームランを叩き込み 3-0。続く 8 番井上(裕)もライトオーバーのツーベースヒットで続き、9 番玉城 1-2 と追い込まれながらもライト前に運び 4 点目。玉城盗塁とパスボールで 3 塁に進み 1 番黒岩レフトへタイムリーヒットを放ち 5 点目。2 番島尻も 6 連打となるレフト前ヒット、パスボールでそれぞれ進み 1 死 2、3 塁から 3 番吉永が 1-2 と追い込まれながらもレフトへの犠牲フライにより黒岩が生還し 6 点目。打順は一巡し 4 番小原がこの回 2 本目となるとタイムリーをライト前に、はじき返し一挙 7 点とビッグイニングを作り、守っては先発井上(裕)が丁寧に打たして取るピッチングで 4 回を完璧に抑え、代わった上田も 1 回を 3 人で抑え一人のランナーも許さず 7-0(5 回コールド)で勝利した。

打線は序盤は固く相手投手を捉えきれなかったが、井上(裕)の好投で守備からリズムを掴み 4 回、打線が爆発し 6 連打を含む一挙 7 点で勝負を決めた。

▼2 試合目 13:09～

住吉工業 SBC 0 0 0 0 0 0

環太平洋大学 3 0 3 2 × 8(規定により 5 回コールド)

住：吉永(3 回)、秋山(1 回) — 多賀

環：井上(4 回)、片山(1 回) — 長谷川

本塁打：小原(環)

三塁打：吉永(環)

二塁打：小原(環)

戦評

1 回裏 1 死から 2 番島尻、3 番吉永の連続ヒットから 4 番小原が初球をレフトオーバーのタイムリーツーベースで先制。5 番吉井も 1-0 からレフト前に綺麗にはじき返し 2 点目。6 番谷口(美)もセカンド内野安打で続き、5 連打で 3-0 とリード。

3 回裏にはこの回先頭の 4 番小原が、初球をレフトスタンドへソロホームラン。続く吉井、長谷川がヒットで出塁し、相手バッテリーのパスボールとワイルドピッチにより 2 点を追加し 6-0 と序盤でリードを広げた。

4 回裏には、1 死から 2 番代打三澤がレフト前ヒット、3 番吉永が 2-1 からライトオーバーのタイムリースリーベースにより 7-0、4 番小原のセカンドゴロの間に吉永が帰り 8-0。

守っては先発の井上が 4 回を 1 安打、片山に継投し相手打線を 0 で抑え 8-0 規定により 5 回コールドで勝利した。